

講義コード	222078J
講義科目名称	疫学【看護】
英文科目名称	Epidemiology
講義期間	後期
学科	適用 - 看護学科(2025)
配当年	2
単位数	2
科目必選区分	必修
授業形態	講義
担当教員	鈴木 研太
曜日・時限	後期 木曜日 3時限 4 2 4・4 2 5 教室
関連するディプロマポリシー	DP DP DP DP DP

授業概要	看護師および保健師においては、現代社会における健康問題について考え、その調査・分析・予防・評価等に貢献するための疫学の知識が必要不可欠である。 医療従事者および看護師として知っておくべき、保健・医療・福祉の各分野や看護学の各領域に関わる疫学の知識・技術について理解し、説明できるようになる。 本科目では、疫学の指標と算出方法、研究調査の方法、統計学的知識、スクリーニングの手法などを身に付ける。また、実際の疫学データを理解し、現状を理解するとともに、将来の自身の活動に応用できるようにすることを目的とする。
学修の到達目標	地域社会における健康支援の実践と健康課題に関する研究を行うための疫学の知識・技術を身につける。 実際に起こっている健康問題に対して、疫学的な観点から論ずることができる。
予習・復習の内容およびそれに必要な時間	講義目的を理解し、あらかじめ教科書を読んでおくこと(1時間)。 毎回の講義内容を見直し、配布資料、演習問題等を中心によく復習し、次の講義までに前回の講義の内容を必ず理解しておくこと(3.5時間)。 本講義内容の修得には、最低90時間以上の学修時間を要し、毎回4.5時間程度の予習・復習が必要
成績評価の方法・基準	評価基準は、授業概要および授業計画に記載した内容の理解度、学修の到達目標の達成度による。 成績の評価は、定期試験(70%)、課題・演習等(30%)を総合して行う。
試験・レポート等に対するフィードバックの方法	課題等に対するフィードバック(正解の提示と解説)および講義・試験・課題等に対する疑問点や質問に対する回答は講義後に対面・メール等での説明もしくはPortalサイト、CoursePowerへの掲示によって行う。

教科書					
No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.	『標準保健師講座4 疫学・保健』	尾崎米厚、他	医学書院	2025	
2.					
3.					

参考図書					
No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.					
2.					
3.					

教員からのメッセージ	教科書、配布プリントを使用します。 内容の理解を確認するため、課題演習を行います。 本科目の内容は、1、2年次に学んだ、医療保健統計学、公衆衛生学などの他の科目の内容に関連します。 理解できない点、疑問点はそのままにせず、本や資料を調べたり、担当教員に積極的に質問し、
------------	---

当該科目に関連する職歴と科目への活かし方	実務経験の有無:

その他	
-----	--

参考URL	表示名:
	URL:

授業方式	オンライン授業	対面授業	併用
		○	

	回数	テーマ	内容
授業計画	1	疫学の基礎	疫学とは何か？疫学概念、疫学の歴史、看護における疫学の意味、疫学の疾病への予防の貢献について説明できるようになる。
	2	集団の健康状態の把握	健康とは何か、疾病とは何か、比、割合、率の違いなどについて知り、有病率、罹患率、死亡率等の指標の意味とその求め方を説明できるようになる。
	3	曝露効果の指標	曝露とは何かを知り、曝露効果の指標として、相対危険度、寄与危険度、人工寄与危険割合について自らこれらを計算できるようになる。
	4	疫学的研究方法	疫学研究の倫理的側面の重要性和留意するポイント、対象集団の選び方について説明できるようになる。
	5	疫学的研究方法	疫学の方法、研究デザインについて知り、疫学調査の種類を概観し、記述研究、生態学的研究、横断研究、コホート研究、症例対照研究について説明できるようになる。
	6	疫学的研究方法	臨床研究に多用される介入研究について理解する。疫学調査の計画立案、実行、調査後の統計解析の過程で生じる誤差、バイアス、それらを回避する方法について説明できるようになる。
	7	疫学的研究方法	疫学における交絡因子とその制御方法、因果関係の立証、各研究方法のエビデンスレベル、流行現象、アウトブレイク発生時の疫学調査の基本について説明できるようになる。
	8	疾病の予防とスクリーニング	スクリーニングの目的と備えるべき条件、スクリーニング検査の評価の仕方、スクリーニングの事例、望ましいスクリーニングについて説明できるようになる。
	9	疾病登録	疾病登録の意義および目的、がん登録、脳卒中登録について説明できるようになる。
	10	母子保健の疫学	母子保健の疫学について概観し、母性関連疾患、小児疾患の疫学的現状について説明できるようになる。
	11	生活習慣病の疫学	人口の高齢化に伴って重要性が増しつつある生活習慣病について、日本人の死因第一位であるがんや、死因として多い循環器疾患、脳血管疾患、患者が急増中の糖尿病などについて、疫学的現状や予防策などについて説明できるようになる。
	12	難病、精神疾患、認知症、感染症の疫学	わが国独特の疾病分類群である難病や、わが国において、多くの患者が入院している精神疾患の疫学的現状、歴史的に疫学が大きな功績を上げてきた感染症の疫学について、その特徴、関連法規、予防策を説明できるようになる。
	13	不慮の事故、学校保健、産業保健、環境の疫学	不慮の事故の疫学、学校保健の疫学、職場の健康づくりに関わる産業保健の疫学、公害問題・災害などの健康影響に関わる環境疫学について概観し、社会問題における疫学の意味について説明できるようになる。
	14	社会疫学、政策疫学	疫学的手法を応用し、健康と社会経済状況の関係について明らかにする社会疫学、政策への提言を行う政策疫学について説明できるようになる。
	15	臨床疫学、エビデンスベースドナーシング	患者を対象とする臨床疫学について概観し、エビデンスに基づく看護活動・保健活動について、その概念やプロセスを説明できるようになる。

授業計画	回数	テーマ	内容
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			